教育委員会だより

「自立」と「共生」～自己肯定感～

令和４年７月２８日号　多治見市教育委員会　教育総務課

『挨拶で絆の日』

これは、平成２５年から始まった多治見市独自の活動で、年２回市内一斉に行う挨拶運動です。７月１日に今年度１回目の『挨拶で絆の日』の活動が市内各地で実施されました。各校区のまちづくり市民会議の皆さんが中心となり、学校や PTA 及び地域の見守りボランティア等の方々と連携して、厳しい暑さにも負けず、さわやかな挨拶の輪を広げていただきました。学校においては、教員だけでなく MSJ リーダーズや、生徒会及び児童会も輪に加わって活動する姿もたくさん見られました。

挨拶が学校や家庭だけでなく、地域にまで広がっていくことにより、地域の絆が強くなり、住みよいまちづくりにもつながっていくと期待しています。

多治見市中学生総合体育大会

６月25日と26日に、市内の各会場で大会が行われました。今年度も、新型コロナ感染防止対策を踏まえての実施になりました。さらに、今年は、梅雨明けが早く猛暑日が続き、熱中症防止も求められる大会になりました。各会場では、水分補給と競技中はマスクを外すことを徹底して取り組みました。

以上のような制限はありましたが、どの会場においても生徒達は、生き生きと取り組んでいました。特に、中学3年生にとっては心に残る最後の中体連の大会になったのではないかと期待しています。どの子も、悔いが残らないように精一杯頑張りました。

水泳のリレーでは、白熱したレース展開が繰り広げられ、プールサイドから手拍子と歓声が沸き起こりました。応援は手拍子のみでということになっていましたが、抑えきれずに自然に沸き起こった歓声だったのでしょう。その瞬間に居合わせてもらうことができ、胸が熱くなりました。頑張っている仲間を応援する気持ち、仲間の応援に応えようとする気持ちが一つになる瞬間に、勝敗を超えた価値を実感しました。

土曜学習『チャレンジスポーツ in 多治見』

今年度３回目の土曜学習が、７月２日に感謝と挑戦の TYK 体育館で行われました。コロナ禍で思いっきり体を動かす機会が減ってしまった子ども達に、一流のスポーツ選手と一緒にスポーツの楽しさやさわやかさを実感できる場を提供したいと願って実施しました。東京オリンピック銅メダリストの田中亮明さんと中京高校ボクシング部の皆さん、バスケットボールのプロチーム GIFU SEIRYU HEROES の皆さんを講師としてお迎えして、１００名の小中学生は楽しく充実した時を過ごしました。まず、田中亮明さんとふれあう会では、子ども達のたくさんの質問に応えていただきました。その後、ボクシング体験、バスケットボール体験、トレーニング体験をローテしながら楽しく活動しました。子ども達がスポーツを楽しむ姿や表情を目にしながら、『スポーツ』の素晴らしさや大切さを改めて実感しました。

【ボクシング体験】

【ふれあう会】

【バスケットボール体験】